



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 キョウデン
 コード番号 6881 URL <https://www.kyoden.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画室長 (氏名) 渡邊 真樹

TEL 03-5789-2273

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,866	12.3	970	17.1	1,017	19.3	674	77.2
2020年3月期第2四半期	26,064	6.0	1,171	37.0	1,261	34.8	380	73.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 468百万円 (11.3%) 2020年3月期第2四半期 528百万円 (57.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.57	
2020年3月期第2四半期	7.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	45,109	18,995	41.9
2020年3月期	45,502	18,775	41.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 18,913百万円 2020年3月期 18,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	11.6	2,200	0.5	2,200	2.7	2,300	41.8	46.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	52,279,051 株	2020年3月期	52,279,051 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,592,855 株	2020年3月期	2,592,855 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	49,686,196 株	2020年3月期2Q	49,686,196 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大が依然続いており、企業投資を含め様々な経済活動の停滞を招く等急速に悪化し、その後各国における経済活動は徐々に戻りつつあるものの、収束の目途が立たない為に先行きは極めて不透明な状況が続いております。このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比12.3%減の22,866百万円、営業利益は前年同期比17.1%減の970百万円、経常利益は前年同期比19.3%減の1,017百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比77.2%増の674百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子事業)

電子事業におきましては、新型コロナウイルスの影響により5月以降急激に受注が落ち込みました。国内基板事業に関しましては、産業機器及び医療機器が若干の増収となりましたが、他のアプリケーション及び海外基板事業の減収が大きく、またEMS事業におきましては主要顧客からの受注減も重なり、電子事業全体の売上高は前年同期比13.5%減の17,656百万円と減収となりました。セグメント利益は、前年度に行いました横浜工場集約に伴う事業構造改革の効果も見受けられましたが、大幅な受注減に伴い、前年同期比27.7%減の602百万円と減益となりました。

(工業材料事業)

工業材料事業におきましては、前年度から続く米中貿易摩擦や中国経済の減速に新型コロナウイルス感染拡大が加わり、特に自動車および鉄鋼関連産業の低迷の影響が大きく全般に販売は伸びませんでした。しかしながら、都市インフラ関連や原料仕入れ販売等、一部製品・商品の販売が堅調であったことに加えて、経費の圧縮や減価償却費の減少も収益を押し上げました。その結果、売上高は前年同期比7.7%減の5,210百万円、セグメント利益は前年同期比8.8%増の367百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は45,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円減少しました。主な増減は、現金及び預金の増加2,565百万円、受取手形及び売掛金の減少3,178百万円及び有形固定資産の増加408百万円であります。

負債の残高は26,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ613百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少2,052百万円、未払法人税等の減少391百万円及び借入金金の増加2,481百万円であります。

純資産の残高は18,995百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金の増加425百万円及び為替換算調整勘定の減少194百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は7,738百万円（前連結会計年度末は5,173百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は2,030百万円（前第2四半期連結累計期間は2,256百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,017百万円及び減価償却費945百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は1,149百万円（前第2四半期連結累計期間は634百万円の使用）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出1,224百万円及び固定資産の売却による収入73百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は1,703百万円（前第2四半期連結累計期間は1,591百万円の使用）となりました。これは主に、借入金の純増加額2,481百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出332百万円及び配当金の支払額248百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、直近の業況等を勘案し、2020年5月15日に公表しました通期連結業績予想を修正いたしました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、各国における経済活動が停滞し、当社グループでも、5月以降全般的な受注の落ち込み等、影響が少なからずありました。2020年度後半にかけては、事態の鎮静化に伴い回復してくるものと考えておりますが、依然として不透明な状況にありますので、売上高47,000百万円、営業利益2,200百万円、経常利益2,200百万円と当初の予想よりも下方修正いたします。一方で、2020年8月26日に公表いたしました「固定資産の譲渡および特別利益（固定資産売却益）計上に関するお知らせ」に記載のとおり、特別利益約1,200百万円を計上する予定であることから、親会社株主に帰属する当期純利益は2,300百万円と当初予想よりも上方修正しております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,173	7,738
受取手形及び売掛金	14,187	11,008
電子記録債権	2,431	2,082
商品及び製品	2,206	2,544
仕掛品	2,102	1,977
原材料及び貯蔵品	3,314	3,367
その他	377	333
貸倒引当金	△143	△142
流動資産合計	29,649	28,911
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,286	4,267
その他（純額）	9,232	9,659
有形固定資産合計	13,518	13,927
無形固定資産		
	269	259
投資その他の資産		
その他	2,220	2,167
貸倒引当金	△156	△155
投資その他の資産合計	2,064	2,011
固定資産合計	15,852	16,197
資産合計	45,502	45,109

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,860	4,808
電子記録債務	1,025	853
短期借入金	2,409	2,579
1年内償還予定の社債	326	249
1年内返済予定の長期借入金	2,272	2,660
未払法人税等	687	296
賞与引当金	406	527
その他	3,248	2,906
流動負債合計	17,236	14,880
固定負債		
社債	480	360
長期借入金	4,815	6,738
役員退職慰労引当金	8	8
退職給付に係る負債	2,639	2,704
その他	1,547	1,421
固定負債合計	9,489	11,232
負債合計	26,726	26,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	11,075	11,501
自己株式	△491	△491
株主資本合計	19,116	19,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	137
為替換算調整勘定	△557	△752
退職給付に係る調整累計額	△6	△13
その他の包括利益累計額合計	△415	△628
非支配株主持分	74	82
純資産合計	18,775	18,995
負債純資産合計	45,502	45,109

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日）
売上高	26,064	22,866
売上原価	21,962	19,164
売上総利益	4,102	3,702
販売費及び一般管理費	2,930	2,731
営業利益	1,171	970
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	1	2
受取賃貸料	22	10
投資事業組合運用益	97	—
為替差益	7	17
未払配当金除斥益	—	24
その他	28	56
営業外収益合計	159	111
営業外費用		
支払利息	51	43
その他	19	20
営業外費用合計	70	64
経常利益	1,261	1,017
特別損失		
事業構造改善費用	566	—
特別損失合計	566	—
税金等調整前四半期純利益	694	1,017
法人税、住民税及び事業税	454	258
法人税等調整額	△148	77
法人税等合計	306	335
四半期純利益	388	681
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	380	674

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	388	681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	△10
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	85	△194
退職給付に係る調整額	3	△7
その他の包括利益合計	140	△213
四半期包括利益	528	468
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	520	460
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	694	1,017
減価償却費	1,025	945
事業構造改善費用	566	—
のれん償却額	9	4
賞与引当金の増減額（△は減少）	270	121
貸倒引当金の増減額（△は減少）	30	△2
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	40	65
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	51	43
固定資産売却損益（△は益）	△7	△11
売上債権の増減額（△は増加）	1,224	3,403
たな卸資産の増減額（△は増加）	△340	△309
仕入債務の増減額（△は減少）	△682	△2,144
未払金の増減額（△は減少）	291	△365
その他	△346	△72
小計	2,824	2,693
利息及び配当金の受取額	15	3
利息の支払額	△51	△43
法人税等の支払額	△532	△622
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,256	2,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△749	△1,224
固定資産の売却による収入	59	73
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	56	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634	△1,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,980	170
長期借入れによる収入	2,750	3,700
長期借入金の返済による支出	△1,267	△1,388
社債の償還による支出	△267	△197
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△330	△332
配当金の支払額	△496	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,591	1,703
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△18
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	36	2,565
現金及び現金同等物の期首残高	5,440	5,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,476	7,738

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	20,418	5,646	26,064	—	26,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,418	5,646	26,064	—	26,064
セグメント利益（注）	833	338	1,171	—	1,171

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子事業」セグメントにおいて、当社の横浜事業所生産停止の意思決定に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において312百万円であり、特別損失の「事業構造改善費用」に含まれております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	17,656	5,210	22,866	—	22,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,656	5,210	22,866	—	22,866
セグメント利益（注）	602	367	970	—	970

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。